

松政クラブだより

No.5
H21.9

開かれた 議会活動をめざし



松江市議会・松政クラブ
会長 田中 弘光

合併二期目を担う市長と市議会議員を選ぶ選挙が去る四月一九日に行われ、市民皆様方によって松浦市長と三四名の新議員がそれぞれ選出されました。市長選は現職と新人の一騎打ちでしたが、議員は、合併一期目の定数四八名を、三四名に減らして新旧四六名が争う激しい選挙が行われました。

この選挙が終わり連休明けを待って、松政クラブの新役員が中心となり、正副議長を選任をはじめ各議員の所属委員会の決定等々の議会人事を経た後、六月定例議会も無事終わり、いよいよ合併二期目の松江市政が動き出しました。その後八月末の総選挙の結果、民主党政権が誕生しましたが、中央は中央として私達市議会議員は、市民の皆様から付託を受けましたので、市政運営に一層努力しなければなりません。

ところで、松江市議会は議会運営上「党派制」としてありますが、この党派は中央政界での「政党」とはほぼ同義語で、理念を共有する者で構成されており、我々松政クラブは三四名の議員中、二三名が所属する最大の党派となりました。それだけに、議会の運営はもとよりですが、合併二期目の四年間の市政運営の方向・在り方等についても、大きな責任があると思っております。

松江市議会は合併一期目にさまざまな議論を積み重ねて、議会活動の基本的な在り方等について規定した『議会基本条例』を定めました。二期目はいよいよこれ等を実践に結びつけなければなりません。その重点活動のひとつに、議会報告会の開催等議会広報の充実があります。出来るだけ市民皆さんの所へ足を運び、議会活動の内容等をお話し、理解を深めていただくと同時に皆さん方のご意見もお聞きするという取り組みです。

なるべく早く各会派の協議を経て細部を詰め、議会を挙げて実践活動に移らなければなりません。どうぞその節は、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



松政クラブ役員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|-------|
| 相談役 | 比川 修治 | 相談役 | 立脇 通也 | 相談役 | 田中 弘光 | 相談役 | 森脇 敏信 | 相談役 | 三島 良信 | 相談役 | 森脇 敏信 | 副議長 | 南波 徹 | 副議長 | 川島 光雅 | 副議長 | 田中 弘光 | 副議長 | 立脇 通也 | 副議長 | 野津 直嗣 | 副議長 | 貴谷 麻以 | 副議長 | 林 干城 | 副議長 | 石倉 茂美 | 副議長 | 出川 修治 |
| 相談役 | 比川 修治 | 相談役 | 立脇 通也 | 相談役 | 田中 弘光 | 相談役 | 森脇 敏信 | 相談役 | 三島 良信 | 相談役 | 森脇 敏信 | 副議長 | 南波 徹 | 副議長 | 川島 光雅 | 副議長 | 田中 弘光 | 副議長 | 立脇 通也 | 副議長 | 野津 直嗣 | 副議長 | 貴谷 麻以 | 副議長 | 林 干城 | 副議長 | 石倉 茂美 | 副議長 | 出川 修治 |

発行にあたって

市の意志決定や予算執行に対するチェック、バランスのとれた市政推進のための監視など、松政クラブの果たすべき役割は今後ますます重要で、松政クラブではそうした活動を皆様にお知らせし、松政クラブの活動を身近に感じていただけるよう努力してまいります。編集にあたりましてはできるだけ「わかりやすく」「親しみやすい」内容となるよう心がけました。

広報委員長
南波 いわお

議会構成

- | | | | | | |
|------------------|-------|------------------|--------|------------------|-------|
| 議長 | 三島 進 | 副議長 | 山本 勝太郎 | 監査委員 | 比良 幸男 |
| 総務委員会 | 森脇 敏信 | 教育民生委員会 | 吉金 隆 | 経済委員会 | 松蔭 嘉夫 |
| 建設環境委員会 | 森脇 敏信 | 建設環境委員会 | 森脇 敏信 | 建設環境委員会 | 森脇 敏信 |
| 議会運営委員会 | 田中 弘光 | 議会運営委員会 | 田中 弘光 | 議会運営委員会 | 田中 弘光 |
| 宍道湖・中海問題等対策特別委員会 | 石倉 茂美 | 宍道湖・中海問題等対策特別委員会 | 石倉 茂美 | 宍道湖・中海問題等対策特別委員会 | 石倉 茂美 |
| 島根原子力発電対策特別委員会 | 立脇 通也 | 島根原子力発電対策特別委員会 | 立脇 通也 | 島根原子力発電対策特別委員会 | 立脇 通也 |
| 総合交通対策特別委員会 | 森脇 敏信 | 総合交通対策特別委員会 | 森脇 敏信 | 総合交通対策特別委員会 | 森脇 敏信 |
| まちづくり対策特別委員会 | 森脇 敏信 | まちづくり対策特別委員会 | 森脇 敏信 | まちづくり対策特別委員会 | 森脇 敏信 |
| 議会広報等特別委員会 | 南波 徹 | 議会広報等特別委員会 | 南波 徹 | 議会広報等特別委員会 | 南波 徹 |

1 松政クラブ全体研修報告（東京） ◎三島 良信

◎「定住自立圏構想について」 ◎「農政の現状」「米政策・水田農業政策」について

松政クラブでは、7月13日～15日にかけて全体研修と各部会に別れての部会研修を行いました。

13日は、自由民主党本部

において全体研修を行い、総務省から地域自立応援課長山崎重孝氏より「定住自立圏構想について」、農林水産省からは、農林水産省大臣官房政策課上席企画官・山口靖氏、総合食料局食糧部計画化需給調整対策室長・村井正親氏より「農政の現状について」「米政策・水田農業政策」についてそれぞれ説明を受けました。

定住自立圏構想とは、人口定住のために必要な生活機能の確保に向けて、中心市宣言を行った中心市と周辺町村が、「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」の観点から連携する取り組みであり、松江市議会では6月定例会において定住自立圏形成協定の締結をすること、定住自立圏形成協定の変更をすること、定住自立圏形成協定の廃止を求める旨の通告をすることなど関係市町村の議決を経て締結する協定が提案され可決しました。

これは、中心市構想の先行実施団体になると特別交付金が措置されることもあり、手続を先行したものであり内容については今後示さなくてはなりません。

今回、「先行実施団体について」「定住自立圏構想推進要綱の概要」「定住自立圏構想の推進に向けた総務省の財政措置の概要」「関係省庁による支援策」「関連する21年度補正予算関係について」など説明を受けました。

また山崎課長は松浦市長の総務省時代の後輩とのことであり丁寧に説明して頂きました。

松政クラブとしても今後の圏域での事業展開について内容提言できるような努力してまいります。

農政の現状については、

「農業・農村が直面する現実」「世界の食糧需給の中での我が国農業の役割」「農政改革の検討方向」「農地改革に沿った担い手育成のあり方」「自給力向上のための米・水田農業政策の検討」「農山漁村の機能発揮のための支援」「米政策・水田農業政策については、「生産調整の取り組み状況」「水稲及び転作作物の作付状況の推移」「平成21年度の水田フル活用支援策」などの説明を頂き意見交換を行い初日の研修を終了しました。



クイズ①
このイラストの意味がわかるかな。
答えは最終ページに

2 総務部会・建設環境部会 研修報告（小田原市・静岡市） ◎森脇 幸好 ◎森脇 勇人

◎「屋外広告物条例」「入札制度改革」について

総務部会・建設環境部会では、7月14日小田原市と静岡市において合同で研修を致しました。

小田原市は人口約19万8千人、面積は11.4km²、人口においては松江市とほぼ同数の市であり、戦国時代は北条氏の城下町として関東の政治・経済・文化の中心都市として繁栄し、二宮尊徳の出生地としても有名です。

小田原市議会二宮事務局長から市の概要について説明していただき、都市部鶴田景観担当課長より小田原市屋外広告物条例のあらましと、来年5月に施行する新屋外広告物条例について説明いただきました。

今回の視察は昨年松江市で施行した屋外広告物条例よりも先行実施した小田原市について、今回改正する内容について視察するものです。

小田原市の特徴は、景観計画重点区域のほか、5つの規制区域に区分されているところと、設置基準のなかで計画重点区域において色彩基準が導入されるとこ

ろと、許可期間がもうけられているところであり、視察した町の様子は、けばけばしさや、派手さが抑えられて落ち着きのある町並みでした。色彩の基準については事業者との交渉が大変であったとのことでしたが、松江市でどのように生かせるのか今後考えていきたいと思えます。

静岡市には、14日午後より入札制度改革について視察を行い、入札契約の方式・総合評価方式の内容・低入札価格調査制度について、工事内訳書、計画書について、県内、市内企業の優先について、予定価格の公表・電子入札・改革の経過について説明を受けました。

静岡市では予定価格は公表しているものの、平成20年4月より全ての建設工事・建設業関連業務委託について電子入札となっており、落札率は88%前後で推移しているとのことでした。

今回低入札による弊害である下請け事業者へのしわよせおよび安全対策への欠如問題、下請け、孫請け事業者の県外事業者の利用に関する工事計画書の判断の仕方、総合評価方式に係る評価基準と導入などについては、難しい内容であり研修しきれませんでした。今後とも研修を重ね松江市にも反映させていければと思います。



また現場代理人の兼任も21年1月に改正され一人2件まで、請け負い代金が2500万円未満のもので工事現場を1時間以内で移動できることなどの条件で認められています。

今回低入札による弊害である下請け事業者へのしわよせおよび安全対策への欠如問題、下請け、孫請け事業者の県外事業者の利用に関する工事計画書の判断の仕方、総合評価方式に係る評価基準と導入などについては、難しい内容であり研修しきれませんでした。今後とも研修を重ね松江市にも反映させていければと思います。

③ 教育民生部会研修報告（水戸市） ◎吉金 隆

◎「障害者福祉事業」について

教育民生部会は経済部会と共に7月14日から茨城県水戸市を訪れ、合同で研修を致しました。

障害者福祉事業について水戸市の試みや現状をうかがいました。平成11年3月に「互いに支えあうあたかなまち・水戸」を目指し「水戸市障害者福祉計画」を策定されていましたが、

介護保険制度の施行・精神・保健・福祉業務の一部が市へ移管・措置制度から支援費制度への移行など障害者を取り巻く社会環境の変化と可能な限り地域社会の中で自立して生活をしていくというノーマライゼーションの理念の拡大の中で政策の転換が求められ、障害者が地域社会で自立して生活をする力を身につける為の

いわゆる脱施設に向け社会資源の充実・活用を重点とした平成17年から10年間を見据えた新計画を立てられました。

基本目標は以下の8点で、

- ① 地域で生きる風土
- ② 生きる力を身につける学習機会
- ③ 能力を發揮できる場

クイズ③ このイラストの意味がわかるかな。答えは最終ページに



④ 適切な支援を受けられることができる環境

⑤ 障害とともに健康に生きる支援体制

⑥ 地域生活を支える適切な支援体制

⑦ 地域で生きる生活環境

⑧ 生きがいのある暮らし、各々に6、13の施策がプランチとして連なっています。

特出すべきものとしては、

①の地域で生きる風土づくりでは、交流事業の充実として財団法人水戸市社会福祉事業団による25年間続いているふれあい広場のお陰で入所より通所が拡大している。

②の生きる力を身につける学習機会づくりでは、就学相談体制の充実を図り療育センターの専門員が保護者と緊密に連絡を取り合い、就学後は各々ケースワーカーに引き継がれています。



④ 経済部会研修報告（水戸市） ◎松蔭 嘉夫

「水戸ひたち広域観光圏」について

7月14日から経済部会は、教育民生部会と共に茨城県水戸市で合同で研修を致しました。

経済部会は「水戸ひたち広域観光圏」について、水戸市産業経済部観光振興課鳥課長より現状の説明を受けました。

水戸ひたち観光圏は茨城県北部の13市町村を圏域として、行政、(社)茨城県観光物産協会、(財)グリーンふるさと振興機構、ホテル旅館生活衛生同業組合、交通事業者、民間事業者等で水戸ひたち観光圏推進協議会が構成されています。

計画の期間は、平成20年10月1日から平成25年3月31日で21年度は16事業34,801千円、補助金13,920千円が予定されている。

主な事業は、観光圏内案内標識整備事業、観光圏魅力再発見実施事業などである。

目標は、観光入込客数2,291万人(19年度)から2,660万人(24年度)宿泊客数481万人(19年度)から558万人(24年度)である。

今後も観光拠点の魅力づくり(イベント・食など新たな魅力づくり)観光圏内の周遊・宿泊促進に取り込む計画である。

今年度、水戸市は水戸藩開府400年祭にあたり、水戸藩15代当主をはじめ旧藩地域の20市町村の関係者が集まる計画もある。

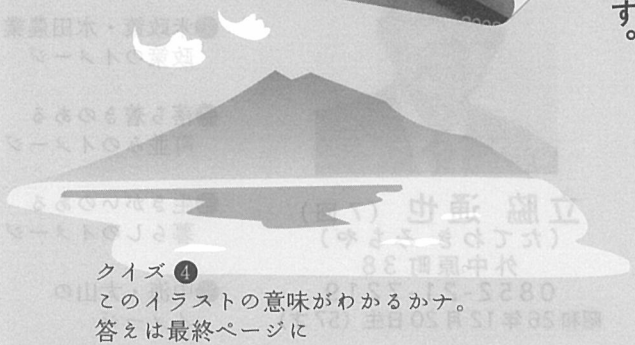
水戸市の観光は2、3月の梅祭り、8月の黄門祭り等季節的である、又上野から電車で1時間余りであり日帰りが多く宿泊客が少ないのが課題である、今後圏域の共通事業を計画中のことであった。

15日は短時間であったが市内の観光施設について現地で説明を受け研修を終了した。

松江市も「中海・宍道湖・大山観光圏」を構成しており(社)松江観光協会により松江―境港市シャトルバス運行事業等いろいろな事業が計画実施されている。今後も圏域としての共通事業、魅力アップが必要だと思えます。



クイズ④ このイラストの意味がわかるかな。答えは最終ページに



私たちは「責任会派」として
松江市民の皆様のご期待にお応えします。



森脇 勇人 (4回)
(もりわき はやと)
美保関町七類 142
0852-72-3117
昭和38年9月5日生 (46才)



林 干城 (5回)
(はやし かんじょう)
手角町 82
0852-34-1171
昭和18年8月2日生 (65才)



田中 豊昭 (6回)
(たなか とよあき)
鹿島町御津 510
0852-82-1503
昭和17年4月13日生 (67才)



石倉 茂美 (6回)
(いしくら しげみ)
佐草町 9
0852-23-2821
昭和21年12月14日生 (62才)



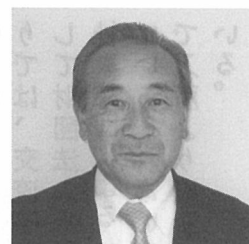
森脇 幸好 (2回)
(もりわき ゆきよし)
玉湯町湯町 2170-1
0852-62-2151
昭和22年12月3日生 (61才)



比良 幸男 (8回)
(ひら ゆきお)
幸町 802-3
0852-26-5443
昭和17年6月3日生 (66才)



田中 弘光 (5回)
(たなか ひろみつ)
秋鹿町 3321
0852-88-2537
昭和14年8月9日生 (69才)



板垣 亨 (4回)
(いたがき とおる)
西忌部町 960
0852-33-2549
昭和17年12月17日生 (66才)



山本 勝太郎 (6回)
(やまもと かつたろう)
鹿島町惠曇 511-1
0852-82-0043
昭和18年4月21日生 (66才)



松蔭 嘉夫 (2回)
(まつかげ よしお)
島根町大芦 1501
0852-85-2153
昭和19年8月7日生 (64才)



出川 修治 (9回)
(でがわ しゅうじ)
新雑賀町 8-12
0852-26-4769
昭和23年7月10日生 (60才)



加藤 富章 (4回)
(かとう とみゆき)
古志原二丁目 2-15
0852-23-3589
昭和23年1月15日生 (61才)



吉金 隆 (2回)
(よしかね たかし)
上乃木二丁目 16-25
0852-23-2444
昭和24年4月4日生 (59才)



三島 進 (6回)
(みしま すすむ)
大庭町 304
0852-25-2334
昭和18年1月30日生 (66才)



南波 巖 (3回)
(なんば いわお)
上東川津町 1783
0852-25-0860
昭和20年7月24日生 (63才)



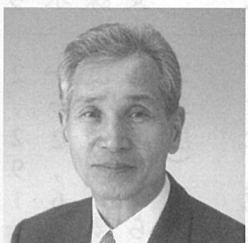
川島 光雅 (1回)
(かわしま みつまさ)
宍道町昭和 120
0852-66-3007
昭和24年11月5日生 (59才)

(五十音順)
() 内当選回数は
合併前と合算しています。
() 内平成21年4月20日現在の年齢

議員一口 Q&A

Q
議員が家にいるときは
休みなのですか？
「休暇」はあるのですか？

A
議員には一般的な「休暇」
制度はありません。議員に
とって、議会の会議や市の
行事などに出席するほか、
地域住民の皆様の要望や生
の声を聞くことも大切な仕
事です。議会以外での政務
調査活動もあり、公務、私
的活動の区別がしにくいこ
とから、「24時間休みなし」
と言うこともできます。



三島 良信 (6回)
(みしま よしのぶ)
宍道町佐々布 2222
0852-66-2618
昭和22年7月29日生 (61才)



野津 照雄 (1回)
(のつ てるお)
大井町 449
0852-39-0229
昭和28年2月7日生 (56才)



貴谷 麻以 (1回)
(きたに まい)
矢田町 478
0852-33-7800
昭和34年6月19日生 (49才)



森脇 敏信 (6回)
(もりわき としのぶ)
美保関町七類 1523
0852-72-3155
昭和24年1月28日生 (60才)



野津 直嗣 (1回)
(のつ なおつぐ)
学園南二丁目 19-17
0852-39-0197
昭和51年10月1日生 (32才)



立脇 通也 (7回)
(たてわき みちや)
外中原町 38
0852-21-7219
昭和26年12月20日生 (57才)

クイズの答

- ①米政策・水田農業
政策のイメージ
- ②落ち着いたある
町並みのイメージ
- ③生きがいのある
暮らしのイメージ
- ④中海・大山の
イメージ